

へいせい ねんど ぶんきょうくしょうがいしゃちいきじりつしえんきょうぎかい  
平成29年度 文京区障害者地域自立支援協議会

だいにかいしょうがいたうじしゃぶかい ようてんきろく あん  
第二回障害当事者部会 要点記録(案)

【日時】平成29年8月1日(火)午後2時30分から4時30分まで

【会場】文京区民センター 3-D会議室

【出席者】志村 健一 (自立支援協議会 副会長)

小和瀬 芳郎(障害当事者部会 部会長 精神障害)

天野 亨(障害当事者部会 副部会長 身体障害)

永野 栄一郎(知的障害 区民公募)

老 孝明(精神障害 施設推薦)

杉崎 裕介(身体障害 施設推薦)

中島 一浩(障害福祉課 課長)

松下 功一 (補助人)

小椋 はるみ(補助人)

熊谷 千春(補助人)

北村 悦子(補助人)

山名 興子 (相談支援専門部会当事者委員)

【傍聴人】東京都国立市の障害当事者の皆さま 他

【欠席者】高山 直樹(自立支援協議会 会長)

竹間 誠次(知的障害 区民公募)

福田 美紗子(身体障害 区民公募)

## 【開会前に事務局からの連絡】

座談会形式にて実施

出欠席の確認

会議録作成のため会議内容の録音について確認

配布資料の確認

1. 開会の挨拶 小和瀬部会長より

2. 自己紹介

- ・相談支援専門部会当事者委員山名氏の自己紹介
- ・各委員の自己紹介

3. 議題

(1) 障害当事者の広報誌について 【資料第1号】

○ 広報誌(案)の内容について最終確認を行う。事務局から各委員へ名前の掲載について確認、了承を得る。

○ 広報誌(案)では最終ページ下段に『今年度の活動に向けて』というテーマで区委員が文章作成をしている。テーマとしては重要な部分であると思うのだが、このまま区委員の文章で良いのだろうか？

・意見

⇒それであればタイトルを変えるのはどうだろうか。

⇒区からの応援があるということも発信できたほうが良い。

・結果

タイトルを『区からのメッセージ』に変更し、文章表現もタイトルに合うように若干変更することになる。

○ 委員からの感想

・文章の作成はそれほど大変ではなかった。

・職員の手伝いもあり、すらすら書けた。

・大変だったけど、このように声を発信できたことは良かった。

○ まとめ

上記の意見について内容を<sup>ないよう</sup>変更し、8月中<sup>8がつちゅうじゅんいこう</sup>旬以降<sup>はつこう</sup>に発行、各所<sup>かくしょじゅんじはつそう</sup>順次<sup>じゆんじ</sup>発送<sup>はつそう</sup>をしていく。区のホームページにも掲載<sup>けいさい</sup>できるように区とも調整<sup>ていせい</sup>をしていく。

(2) 文京総合福祉センターまつりについて 【資料第2号】

○ 事務局より<sup>じむきょくより</sup>打合せ<sup>うちあわせ</sup>の内容<sup>ないよう</sup>を報告<sup>ほうこう</sup>。当初<sup>とうしよ</sup>終日<sup>しゅうじつ</sup>参加<sup>せいかん</sup>予定<sup>よてい</sup>だったが会場<sup>かいじやう</sup>の都合<sup>つごう</sup>もあり、今回<sup>こんかい</sup>半日<sup>はんじち</sup>のみの参加<sup>せいかん</sup>となった。当日<sup>とうじつ</sup>は9時から準備<sup>じゆんび</sup>、撤収<sup>てつしゆ</sup>は12時30分<sup>じふん</sup>となっている。

○ 検討事項<sup>けんとうじこう</sup>についての意見<sup>いけん</sup>

- ・ 通所<sup>つうしよ</sup>先<sup>さき</sup>にてミニゲーム形式<sup>けいしき</sup>でウォーミングアップ<sup>まいあき</sup>を毎朝<sup>まいあさ</sup>している。その内容<sup>ないよう</sup>をまとめて<sup>まとめて</sup>いるので後日<sup>ごじつ</sup>事務局<sup>じむきょく</sup>に提出<sup>ていしゆつ</sup>する。
- ・ 差別<sup>さべつ</sup>解消<sup>かいしやう</sup>グッズ<sup>グッズ</sup>のかるた<sup>かるた</sup>であるにも関わらず<sup>かか</sup>、かるた<sup>かるた</sup>が出来ない<sup>できな</sup>障害<sup>しやうがい</sup>の方もいる<sup>いた</sup>ということに初めて<sup>はじめて</sup>気が付いた<sup>きがついた</sup>。
- ・ 白黒<sup>しろくろ</sup>勝負<sup>しやうぶ</sup>をつけるというやり方<sup>やりかた</sup>でなく、ちょっと<sup>ちよつと</sup>体験<sup>たいけん</sup>してみるとという<sup>という</sup>くらいのやり方<sup>やりかた</sup>でも良い<sup>よい</sup>のではない<sup>ない</sup>か。
- ・ 差別<sup>さべつ</sup>解消<sup>かいしやう</sup>グッズ<sup>グッズ</sup>の配布<sup>はいふ</sup>先<sup>さき</sup>について区内<sup>くわい</sup>教育<sup>きやういく</sup>機関<sup>きかん</sup>に幅広く<sup>はばひろく</sup>配<sup>くば</sup>っている。子供<sup>こども</sup>たち<sup>たち</sup>に向けた<sup>むかへた</sup>差別<sup>さべつ</sup>解消<sup>かいしやう</sup>に向けた<sup>むかへた</sup>ツール<sup>ツール</sup>として活用<sup>かつよう</sup>されている。今回<sup>こんかい</sup>作成<sup>さいく</sup>して新<sup>あら</sup>たに課題<sup>かだい</sup>もみつかった<sup>みつかった</sup>ため、今後<sup>こんご</sup>に活かして<sup>いかして</sup>いきたい。
- ・ 障害<sup>しやうがい</sup>当事者<sup>とうじ</sup>部会<sup>ぶかい</sup>が主体<sup>しゆたい</sup>になって祭<sup>まつ</sup>りに参加<sup>せいかん</sup>していきたい。
- ・ 東洋<sup>とうやう</sup>大学の<sup>だいがく</sup>学生<sup>がくせい</sup>ボランティア<sup>ボランティア</sup>を募<sup>つの</sup>ってみるのはどうだろうか。希望<sup>きぼう</sup>があれば募集<sup>ぼしゆ</sup>の周知<sup>しゆち</sup>はできる。
- ・ 別日<sup>べつび</sup>で準備<sup>じゆんび</sup>会<sup>かい</sup>を立ち上げ<sup>た</sup>てて詳細<sup>しゆじさい</sup>は決<sup>き</sup>めていく。
- ・ 準備<sup>じゆんび</sup>に関する<sup>かん</sup>予算<sup>よきん</sup>確保<sup>かくほ</sup>について。コピー代<sup>だ</sup>い、文房具<sup>ぶんぼうぐ</sup>代<sup>だ</sup>いになる。拡大<sup>かくだい</sup>コピー<sup>おお</sup>の大きさ<sup>おお</sup>は実際の<sup>じつさい</sup>会場<sup>かいじやう</sup>を見学<sup>けんがく</sup>して決<sup>き</sup>める。
- ・ 障害<sup>しやうがい</sup>福祉<sup>ふき</sup>課<sup>か</sup>から差別<sup>さべつ</sup>解消<sup>かいしやう</sup>グッズ<sup>グッズ</sup>でカルタ<sup>かるた</sup>の貸<sup>か</sup>し出し<sup>だ</sup>は可能<sup>かのう</sup>。カレンダー<sup>か</sup>は確認<sup>かくにん</sup>が必要<sup>ひつやう</sup>。
- ・ 壁<sup>かべ</sup>には養生<sup>やうじやう</sup>テープ<sup>テープ</sup>であれば貼<sup>は</sup>ることも可能<sup>かのう</sup>。
- ・ カルタ<sup>かるた</sup>については読み札<sup>よみふだ</sup>と取り札<sup>とりふだ</sup>を一緒<sup>いっしょ</sup>にしてA4<sup>いんきつ</sup>で印刷<sup>いんさつ</sup>するか。
- ・ 予算<sup>よきん</sup>については、文房具<sup>ぶんぼうぐ</sup>は事務局<sup>じむきょく</sup>が用意<sup>ようい</sup>し、お金<sup>かね</sup>を使<sup>つか</sup>わずにお願い<sup>ねが</sup>いできる所<sup>ところ</sup>に協力<sup>きやうりやく</sup>を依頼<sup>いらい</sup>していく。
- ・ 次回<sup>じかい</sup>8月19日<sup>がつにち</sup>（土）午前<sup>ど</sup>10時<sup>ごぜん</sup>から基幹<sup>きかん</sup>相談<sup>そうだん</sup>支援<sup>しえん</sup>センター<sup>センター</sup>で打ち合わせ<sup>うちあわせ</sup>をすることにする。

○ 他部会<sup>たぶかい</sup>当事者<sup>とうじ</sup>委員<sup>いん</sup>との交流<sup>かうりゆう</sup>

- ・ 他部会<sup>たぶかい</sup>当事者<sup>とうじ</sup>委員<sup>いん</sup>より以下の感想<sup>い</sup>あり。「皆<sup>みな</sup>から活発<sup>かつぱつ</sup>に意見<sup>いけん</sup>が出て雰囲気<sup>ふんいき</sup>がよかった。先日<sup>せんじつ</sup>身体<sup>しんたい</sup>障害<sup>しやうがい</sup>者の旅行<sup>りょこう</sup>に行<sup>い</sup>ってきた。体操<sup>たいそう</sup>や料理<sup>りやうりき</sup>教室<sup>きやうしつ</sup>もやっている。」

- ・その他、参加者からのお知らせやPRあり。当事者部会員が習い事をしているパントマイムや物まねを披露した。祭りでも行えるとよいという意見あり。
- ・傍聴者の国立市の方から、以下の感想あり。「国立市で当事者部会を立ち上げるために見学させてもらった。和気あいあいとした雰囲気、お互いのことを話す時間もあり、参考にさせてもらいたい。」